

福井県感染症発生動向調査速報

＜＜令和2年＞＞

＜週報＞ 第52週（令和2年12月21日～12月27日）

発行日： 令和3年1月5日

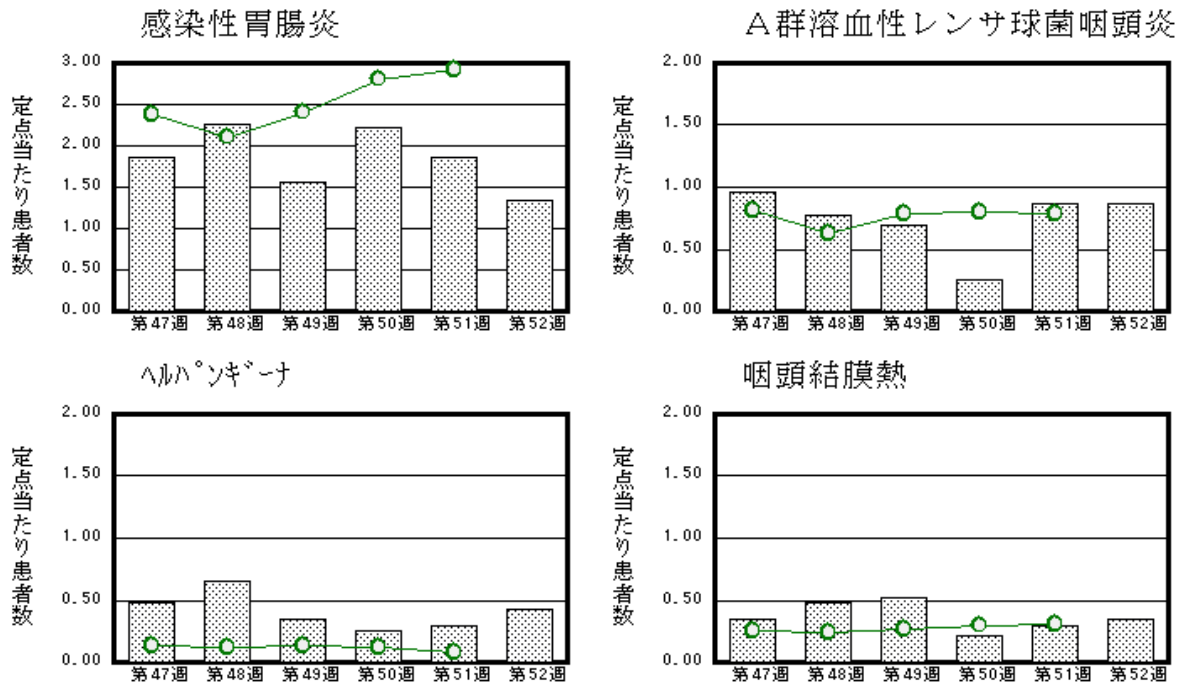
発行： 福井県健康福祉部保健予防課

福井県衛生環境研究センター

kansen@erc.pref.fukui.jp

◆注目疾患の動向

- 【今週の上位5疾患】①感染性胃腸炎31名(1.35名) ②A群溶血性レンサ球菌咽頭炎20名(0.87名) ③ヘルパンギーナ10名(0.43名) ④咽頭結膜熱8名(0.35名) ⑤急性出血性結膜炎1名(0.33名)
()内は定点当たり人数
- 【報告数の多い疾患】①感染性胃腸炎(31名) ②A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(20名) ③ヘルパンギーナ(10名) ④咽頭結膜熱(8名) ⑤突発性発しん(5名)
- 【感染性胃腸炎】報告数は31名です。定点当たり報告数は減少しました(1.87名→1.35名)。地域別にみると、丹南地区2.00名、二州地区1.67名、若狭地区1.50名、坂井地区1.33名、福井市地区1.14名、福井地区1.00名の順となっています。
- 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】報告数は20名です。定点当たり報告数は変動ありませんでした(0.87名→0.87名)。地域別にみると、坂井地区1.67名、若狭地区1.50名、奥越地区1.00名、二州地区1.00名、福井市地区0.71名、丹南地区0.40名の順となっています。
- 【ヘルパンギーナ】報告数は10名です。定点当たり報告数は増加しました(0.30名→0.43名)。地域別にみると、丹南地区1.00名、坂井地区0.67名、奥越地区0.50名、福井市地区0.29名の順となっています。
- 【咽頭結膜熱】報告数は8名です。定点当たり報告数は増加しました(0.30名→0.35名)。地域別にみると、若狭地区1.50名、坂井地区0.67名、奥越地区0.50名、丹南地区0.40名の順となっています。



※ 棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

◎ 各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

◆感染症週報全国版の要点

2020年第50週号(12月7日～12月13日)

発生動向総覧	＜第50週＞ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い
注目すべき感染症	＜直近の新型コロナウイルス感染症およびインフルエンザの状況＞ 新型コロナウイルス感染症は、12月17日15時現在、感染者数(死亡者数)は、世界で74,209,703例(1,649,072例)、193カ国・地域に広がった
感染症関連情報	◆病原体情報 病原微生物検出情報(IASR) ＜速報記事＞バスツアー関連新型コロナウイルス感染症集団感染事例、2020年10月(12/11更新)新型コロナウイルスSARS-CoV-2のゲノム分子疫学調査(2020年10月26日現在) ◆海外感染症情報 厚生労働省検疫所(FORTH) ◆その他 新型コロナウイルス感染症関連情報について/風疹に関する疫学情報(2020年12月16日現在)
速報	＜今週は該当記事はありません＞

※ 詳細は国立感染症研究所感染症疫学センターのホームページをご覧ください。http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html

◆全数届出の感染症(福井県)

一類感染症：報告はありませんでした。
 二類感染症：報告はありませんでした。
 三類感染症：報告はありませんでした。
 四類感染症：報告はありませんでした。
 五類感染症全数把握対象：報告はありませんでした。
 指定感染症：新型コロナウイルス感染症（二州4名、若狭5名）の報告がありました。

類型	病名	年齢						
		0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60以上
指定感染症	新型コロナウイルス感染症			3	3		3	

◆福井県感染症発生動向調査

[定点報告：五類感染症(週報分)] 令和2年 第52週 令和2年12月21日(月)～令和2年12月27日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井市	福井	坂井	奥越	丹南	二州	若狭	計	前週	全国(51週)
インフル エンザ* (37)	インフルエンザ (鳥インフルエンザ* を除く)										70 0.01
小児科 (23)	RSウイルス感染症									1 0.04	396 0.13
	咽頭結膜熱			2 0.67	1 0.50	2 0.40		3 1.50	8 0.35	7 0.30	973 0.31
	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	5 0.71		5 1.67	2 1.00	2 0.40	3 1.00	3 1.50	20 0.87	20 0.87	2499 0.79
	感染性胃腸炎	8 1.14	1 1.00	4 1.33		10 2.00	5 1.67	3 1.50	31 1.35	43 1.87	9217 2.92
	水痘	1 0.14			1 0.50	1 0.20			3 0.13	3 0.13	603 0.19
	手足口病	1 0.14					1 0.33		2 0.09	3 0.13	323 0.10
	伝染性紅斑										45 0.01
	突発性発しん	2 0.29			1 0.50	1 0.20		1 0.50	5 0.22	5 0.22	1199 0.38
	ヘルパンギー ナ	2 0.29		2 0.67	1 0.50	5 1.00			10 0.43	7 0.30	245 0.08
流行性耳下腺 炎	1 0.14							1 0.04	2 0.09	134 0.04	
眼科 (3)	急性出血性結膜 炎	1 0.50							1 0.33	1 0.33	2 0.00
	流行性角結膜 炎		*	*	*		*	*			131 0.19
基幹 (6)	細菌性髄膜炎										9 0.02
	無菌性髄膜炎										8 0.02
	マイコプラズマ肺 炎		*	*							18 0.04
	クラミジア肺炎(オウム 病は除く)										1 0.00
	感染性胃腸炎(ロ タウイルス)										3 0.01
	インフルエンザ (入院患者数)										2 0.00

インフルエンザは、小児科定点+内科定点
 細字は定点当たり患者数

◆福井県感染症発生動向調査(定点報告:五類感染症)

令和2年第52週 令和2年12月21日(月)～令和2年12月27日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ(鳥イン フルエンザを除く)	小児科 定点	RSウイ ルス感 染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルペ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	感染性胃 腸炎(ロタ ウイルス)	インフル エンザ(入 院患者 数)	
～5ヶ月		～5ヶ月				3							～5ヶ月									
～11ヶ月		～11ヶ月				1				1	1		～11ヶ月									
1歳		1歳		8		7		1		3	6		1歳									
2歳		2歳			3	4				1	2		2歳									
3歳		3歳			4	2						1	3歳									
4歳		4歳			3	1		1			1		4歳									
5歳		5歳			2	6							5歳									
6歳		6歳				2	1						6歳									
7歳		7歳					1						7歳									
8歳		8歳			2								8歳									
9歳		9歳			1								9歳									
10～14歳		10～14歳			5	2							10～14歳									
15～19歳		15～19歳				1							15～19歳									
20～29歳		20歳以上				2	1						20～29歳									
30～39歳													30～39歳									
40～49歳													40～49歳									
50～59歳													50～59歳									
60～69歳													60～69歳	1								
70～79歳													70歳以上									
80歳以上																						
合 計		合 計		8	20	31	3	2		5	10	1	合 計	1								
前期計		前期計	1	7	20	43	3	3		5	7	2	前期計	1								
当期間/前期	***	当期間/前期		1.14	1	0.72	1	0.67	***	1	1.43	0.5	当期間/前期	1	***	***	***	***	***	***	***	***
増減数		増減数	-1	1		-12		-1			3	-1	増減数									

***は前期計が"0"のとき